

南丹市地域公共交通会議
議 事 録

南丹市地域公共交通会議事務局
(南丹市企画政策部地域振興課)

南丹市地域公共交通会議（平成30年1月24日開催）議事録

1. 招集年月日 平成30年1月4日（木）
2. 開催年月日 平成30年1月24日（水）午後2時30分～午後3時30分
3. 開催場所 日吉支所3階第1会議室
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
 - (1) 委員の総数 20名
 - (2) 出席者数 18名
 - (3) 出席した委員の氏名 別紙出欠状況のとおり
5. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

会長	<p>（開会あいさつ）</p> <p>みなさんこんにちは。本日地域公共交通会議を開催しましたところ、委員の皆様にはお寒いところご参集賜りましてありがとうございます。地域公共交通は、住民の移動の確保のみならず、地域活性化のためにも重要な課題となっております。南丹市は、園部町・八木町については路線バスの運行を民間で賄っており、日吉町・美山町については市が直営で行っているところです。日頃より利便性の高い体制を検討するように委員会でお話をさせていただいていますが、本年度は改善に向けた事業として、大学への学術支援を委託し、料金体系をこれまでの距離制からゾーン制へ変更することとしています。根本的な見直しには至っておりませんが、改めて市民の皆様の声に耳を傾け、お叱りを受けないよう努力するよう事務局をお願いをしております。問題は、スクールバスとの混乗方式を取り入れている限り難しい課題でもありますので、教育委員会も含め検討する時期になっていると考えております。民間事業者の目線と同じ厳しい感覚を、公営で行う上でも持っていただきたい。地域にかかわるすべての人が一体となって、安全で安心な、利便性の高い事業を進める必要がありますので、この場を借りて改めてお願いします。</p> <p>本日の検討案は、市民の方と、訪れていただく観光客双方に利便性の高い公共交通を提供できるよう、検討させていただきましたので、ご理解ください。会議の進行にご協力くださいますよう委員の皆様をお願いしまして、開会のあいさつとさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。</p>
司会	ありがとうございました。それでは、南丹市地域公共交通会議条例第6条第1項

	に基づき、会長に議事の進行をお願いします。
会長	はじめに、出席委員数の報告をお願いします。
事務局	<p>南丹市地域公共交通会議の現在の委員数20名に対し出席委員数は18名でありますので条例第6条第2項の規定により本会議が成立していることを報告します。</p> <p>なお、本日、京阪京都交通株式会社社長 阪本委員の代理として町田係長、京都府南丹広域振興局企画総務部企画振興室長 岩松委員の代理として吹田副室長、京都タクシー株式会社社長 川本委員の代理として宗口次長、南丹市教育長 森委員の代理として山内次長にそれぞれ出席いただいております。</p> <p>また、南丹市校園長会 中学校代表 福西委員より欠席の連絡を頂いております。</p>
会長	<p>それでは、協議に入ります。</p> <p>「春のダイヤ改正について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局	(資料に基づき事務局から説明)
会長	ただいま事務局から説明がありましたが、これについてご意見、ご質問はございませんか。
委員	利用者の利便性の向上が図れるので良いと考えます。説明の中で、バスの台数・運転手の数を増やさないとあったが、便数が増えるので、財政面の負担は増えてくるかと考えます。運賃も改定されるので、財政的な負担が現状はわからないが、一般会計から補てんする等の対応が必要かと考えるので、そういった財政面の対応をどう考えておられますか。
事務局	財政的などところについては、予算要求ベースであります。今年度当初と来年度当初を比較すると、2,100万円ほど増額して要求する予定です。収入の面については、主力路線である美山園部線の便数をかなり増加させます。現状でも全利用数の半分以上が美山園部線に集中しており、その路線を増便させるので、かなりの利用数増加が見込めると考えています。
委員	わかりやすいダイヤや、稼ぎ頭路線の充実によって、利便性が向上しながら運賃収入が上がる形になればよいのかなと、考えます。今後も一層、利用者の利便性向上に向けた努力を期待します。
会長	市民の皆さんからは、観光客優先で市民対応がおろそかになっているのでは、という意見も頂くこともありますが、今までの利便性は少なくとも確保したうえで、運賃収入が上がるように利便性も向上させていくような、財政的などところも考えな

	<p>がら施策を実施していきたいと考えているので、ご理解をいただきたいと思っております。</p>
会長	<p>ほかにご覧いませんか？細かいダイヤをすべてチェックするのは困難かと思いますが、基本的な改正点は今事務局が説明させていただいた部分であり、みなさんのご不便をかけるような部分はありません。</p> <p>ご意見がないようですので、協議内容について、評決をお願いいたします。</p> <p>「春のダイヤ改正について」は、協議案のとおり合意することにご異議ございませんか。</p>
	<p>(異議なしの声)</p>
会長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、「春のダイヤ改正について」は、合意されました。</p> <p>なお、今後試験運行等を行い、微調整を行う場合がありますが、その点についてはご了承願います。</p> <p>次に、「平成30年度の事業について」事務局の報告を求めます。</p>
事務局	<p>(資料に基づき事務局から説明)</p>
会長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、これについてご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>私としては、ゾーン料金制に変わったくらいで代わり映えは無いと感じますが。やはり、根本的に福祉有償も含めた中で、もっと市民の皆さんが利用しやすい形になるような調査研究をしてほしいと考えています。地域で無料送迎を行っている所もありますが、無料で利便性が良くなったという声も聞く一方、並行して公共交通も走っているので、責任ある交通体制の維持も必要です。民間のバスタクシーとの兼ね合いもあるので、やはり全般的な部分で進めてほしい。それぞれの地域が無償運送を実施していく方向は必ずしも正しくは無いと考えています。無料運送も含め、できるだけ一体的に、多くの方が地域を支えるという認識の下、事業を進めていけるようお願いしたいです。これらのことも含め、公共交通の分野を超えてしまうが、市として実施してほしいと考えています。本日は副市長も出席いただいているので、市としてお互いが協調して、維持できる体制づくりを考えていただきたい。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p>
委員	<p>今福祉のお話がありましたが、ある地域では地域自ら送迎を実施しており、社協でもそういう声を聴きながら、一部で試験的に無料の買い物バスを運行している。これはあくまで試行であり、将来安定して続けられるかは難しい部分であるし、課題もあろうかと思えます。色々な角度から見っていくべきだと思いますが、やはり住</p>

	<p>民の願いという部分は叶えていきたい。今会長がおっしゃったように、公共交通だけではなく福祉有償も含めて大きな部分の中で住民の足をどう確保していくのが大事であると考えております。</p>
委員	<p>免許証を自主返納された方は、年々増加傾向にあり、今後も増えていくことが予想されるので、公共交通や福祉有償の持つ役割は、重要であると考えております。</p>
会長	<p>免許返納をされた後の交通をどう確保するかが今後の市の使命になると私は考えています。公共交通会議の範囲を超えて、そのことは議論していただく必要があり、市として一体となって議論する時が来たのだと思います。</p>
委員	<p>京丹後市ではウーバーを活用したサービスを取り入れていると聞きます。通常のタクシー事業者との兼ね合いなどの問題はありますが、先進的な取り組みとして市でも議論いただけたらと考えています。</p>
会長	<p>どうしても、この地域公共交通会議では進まない事もありますので、関わる立場の人がすべて集まって、一体となって考えていただく場ができればと考えています。地域で無償運行を行っておられる鶴ヶ岡地域から、何かございませんか？</p>
副会長	<p>今は、鶴ヶ岡地域に限定して、高齢者や障がいのある方を中心に、市営バスやデマンドバスが走っていない時間帯に限り要望があれば無償運行を実施しています。保険はかけていますが、一番心配しているのは事故の事です。利用者数は、一日当たり0.3~0.5人くらいです。タクシー事業を圧迫するものではなく、地域の中で地域のおじいちゃん、おばあちゃんを運んでいるという感覚の中で進めています。今後、どのように維持して進めていくかが課題であると考えています。</p>
委員	<p>30年度からは園部・八木地域の見直しを計画しておられ、運賃も見直されるかと考えているが、民間が走っている路線もあるので、時間をかけて合意形成を図り、より良い考え方で園部・八木地域の運賃単価を決定していただきたいし、決めた以上、5年以上は続く形としていただきたい。園部地域に住むものとして、お願いさせていただく。</p>
事務局	<p>日吉・美山地域と園部・八木地域では公共交通の形態も違ってまいりますので、園部・八木地域については民間の事業者ともしっかりと協議をして、皆さまにお出しする資料を作っていくと考えております。</p>
委員	<p>今年度のバスのルートの変更も考えておられますか。平成29年度の改正については、運賃体系だけではなくルートも変わっているのでしょうか？</p>
事務局	<p>先ほどの説明は省略したものであり、分かりづらい点がありましたかもしれません。美山園部線は今まで美山からは日吉駅止まりであったのを、明治国際医療大学まで乗り入れる便としております。その変更は、既存の路線を使っておりますので特段許認可等は必要ありません。また、美山園部線と五ヶ荘線を統合しますので、</p>

	日吉駅から美山間で運行するのに、上佐々江を經由し、転回場でUターンする変更もごございます。また、起点を知見口から旧知井小学校前に変えるなどの変更点があります。今年度見直しを行いました、当然数字を取って調査を行っていく必要があると考えていますので、その点は平成30年度の園部・八木地域の見直しをしながら並行して実施していくこととしております。
委員	以前管内の道の駅と会議を行った際、買い物弱者に対する施策を道の駅が取り組んでいる事例を聞きました。道の駅に来てもらうためのバスを出す、といった取り組みもあるようです。南丹市にも道の駅がありますので、連携も考えながら進めていただけたらと思います。
会長	京丹波町では買い物支援のバスを走らせているが、なぜ南丹市ではないのか、という声をよくいただきます。なかなか実施となると難しい部分がございますが、そういったことも含めて今後の課題だと考えております。
委員	園部八木地域の見直しについても、利便性の高い物になることを期待しております。会長もおっしゃっていましたが、福祉の部門とも協働し進めていただきたい。
会長	事業者の方からは、何かございませんか。
委員	免許返納のお話がありましたが、今、65歳以上の免許証返納者についてはタクシー料金を10%減額する施策を行っております。さきほども官民協働で施策を実施していくようにとの声もありました。今後も色々なサービスを考えておりますので、ぜひこの会議の場でもご意見をいただきたいと考えております。
委員	ICカードやスマートフォンアプリなどとの連携を行っておりますので、そういったツールを活用し、ご利用いただけたらと思っております。
会長	他にご意見はございませんか。
委員	デマンドバスを知らない住民の方が多くいるように思います。友人、知り合いに聞かれたら、使用方法などを教えているが、周知をもっと広くしていただけたら、利用者も増えると考えます。
事務局	デマンドバスについては、周知の面で課題があると事務局でも認識しております。今後、機を見て市のお知らせ版などで、広報を行っていくことで考えております。
会長	他にございませんか。特に無いようでしたら、その他について事務局から何かございませんか。
事務局	(美山京北バスたびきっぷについて、事務局から説明)
会長	それでは、質問が無いようでしたら、閉会をさせていただきます。会議の進行についてお世話になり、ありがとうございました。閉会のあいさつを、副会長からお

	願います。
副会長	お疲れ様でした。今回の会議でも出ておりました通り、公共交通のあり方については幅広く、南丹市全体で議論を進めていく必要があると感じております。地域性が異なる中で、実情に合った公共交通を展開していただけたらと思います。本日は春のダイヤの改正と平成30年度の事業という事でご協議いただきましたが、出ている課題をふまえながら進めていきたいと考えております。本日はありがとうございました。
	(閉会)